

目次

□巻頭言 他山の石……………最上武雄/1  
 □座談会 建設機械化の夢……………/3  
 新しい都市交通システム……………北田彰良/16  
 海洋開発の動向……………伊藤喜栄/22

グラビヤ—第2回国際海洋開発展

民間テレビカメラの動向……………堀才大/32  
 建設業の経営的にみた機械化のあり方……………伊丹康夫/36  
 □随想 雪国改造を目指して……………増岡康治/42  
 土工機械作業部分の摩耗と土岩特性との相関性…梶 昭治郎/44  
 達 達 朗  
 重錘式掘削機による面掘削実験……………松本克己/48  
 建設機械による労働災害と労働安全衛生法……………小俣和夫/54

□建設機械化講座 第113回 現場フェアマンのための上木と施工法

XVII 建設機械概説

5. モータグレーダ……………佐藤昌弘/60  
 小林哲夫

□工事現場巡り

急ピッチで進む開閉架橋……………秋吉成美/66  
 飯田正雄

□建設機械化研究所抄報 <No. 91>

271. ロタナベ WP 902 形自走式タイヤローラ性能試験……………/71  
 272. ロタナベ WP 15 WE 形自走式タイヤローラ性能試験……………/72  
 273. ユタニ・ボクレン LY 80 形全油圧式ショベル性能試験……………/74

□文献調査

水路のライニングにおける急速施工を行なう自動まき出し  
 ………………広報部会  
 文献調査委員会/76

□支部だより

第8回建設機械展示会の開催……………中部支部/78  
 ニュース……………(編集部)/80  
 行事一覽……………/81  
 編集後記……………(上東・川上・三浦)/82

◀表紙写真説明▶

日本道路公団・大島大橋  
 海上作業足場曳航設置工  
 施工

大成建設・大林組共同企業体

本工事は大島大橋下部工のP<sub>1</sub>橋脚用作業足場を製作場所から据付地点まで曳航し、潮流に対して安定するように根固め設置する工事である。この足場を用いてロータリ式大口径掘削機で直径3.6mの掘削を行ない、二重鋼管を建込み、プレバクトコンクリートを打設し、3本の実験ぐいを製作する海上実験工事を行なうもので、潮流速度が5.2m/sec(10kt)と早く、潮止まり時間が少ない、高尾線が横断しているため大形タレーン船の使用が不可能、流底面の起伏が大きく、一軸圧縮強度300~1,000kg/cm<sup>2</sup>の花崗岩が露出しているなどの特色を有する工事である。

工事場所：山口県大島郡大島町  
 作業足場面積：36.25m×26.00m  
 作業足場重量：約2,000t  
 昇降装置：4基、昇降能力600t/基、支持力1,000t/基、自重約78t/基  
 水深：5~13m